

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		介護サービス情報の公表制度支援事業 ※ シルバーサービス振興会分		担当部局庁	老健局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成18年度～平成23年度		担当課室	振興課		振興課長 川又 竹男	
会計区分		一般会計		施策名	IV-5-1 医療・介護一体改革の推進、介護保険制度の適切な運営等を通じて、介護を必要とする高齢者を支援す			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		介護保険法第115条の35		関係する計画、通知等	「介護保険事業費補助金交付要綱」 「介護サービス情報の公表制度支援事業実施要綱」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		介護保険法の規定に基づく、介護サービス情報の公表制度における、介護サービス情報についての基礎的かつ専門的な調査研究、全国的な見地からの都道府県に対する支援等を行う介護サービス情報公表支援センターを設置し、調査研究等を実施する経費を補助することにより、介護サービス情報の公表制度の円滑な施行を支援することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		都道府県における介護サービス情報の公表制度の円滑な施行と安定的運営の支援に向けて以下の事業を行っている。 ①介護サービス情報の公表制度に係る疑義照会の対応等、都道府県(指定情報公表センター)への支援 ②全国公表データの集計分析 ③制度の利活用促進に向けた調査研究、検討会の開催等の取組 ④情報公表システムのサマリー画面や用語の解説機能等の改善案の検討 ⑤パンフレットの作成や介護サービス情報公表支援センターのホームページの運営・管理などの制度の普及啓発に向けた取組						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算の状況	当初予算	256	236	204	96	0
			補正予算					
			繰越し等					
		計	256	236	204	96	0	
		執行額	256	236	204			
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		情報公表システムにおける公表対象サービスについて、段階的に開発を進めてきたところであり、平成21年度において全サービスが対象となり、本格施行を迎えた。そのため利活用促進に重点を置き、ホームページのアクセス件数の増加を成果目標とする。	成果実績	アクセス(月平均)		約24万件	約25万件	約33万件
			達成度	%		92	77	
		情報公表システムの利便性の向上を目的として、公表項目を絞ったサマリー画面を導入することとし、平成22年度モデル事業として、5サービスに限定し公表項目の検討をしたところである。平成23年度においては、残りの25サービス分について、公表項目の検討を行うこととしている。	成果実績	サービス			5	30
達成度	%				100			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		都道府県からの問い合わせ件数		活動実績 (当初見込み)	件	845	802	547 (761)
単位当たりコスト		68 (円/ アクセス)		算出根拠	204百万円(平成22年度予算額)÷300万件(公表システム年間アクセス数)			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	人件費		42	0	介護サービス情報の公表制度支援事業については、平成24年度より名宛補助金を廃止し、公募による事業実施とする予定のため。			
	旅費		2	0				
	印刷製本費		11	0				
	通信運搬費		2	0				
	消耗品費		1	0				
	委託費		31	0				
	雑役務費		3	0				
	賃借料		4	0				
計		96	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・「第23回厚生労働省省内事業仕分け(平成22年12月6日)」における指摘を踏まえ、平成24年度より名宛補助金を廃止することとした。</p> <p>・制度の利活用促進等に向けた検討会の中でアンケート調査等の業務を再委託しているが、平成15年度にシンクタンクの指名競争入札を実施し、その後継続的的事业である為、随意契約としている。</p> <p>・分析システムの開発・改修等の業務を再委託しているが、平成19年度に一般競争入札を実施し、その後継続的的事业である為、随意契約としている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>・情報公表システムは各都道府県において運用しているところであるが、平成24年度以降、国においてサーバーを一元的に管理・運用を行うこととしている。</p> <p>・情報公表公表システムについては、社会保障審議会介護保険部会(平成22年11月)の意見において、「利用者にとって活用しやすいものとなるよう、検索機能や画面表示などを工夫する」よう提言されたところ。</p>
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○省内事業仕分けにおける指摘を踏まえ、当該事業にかかるシルバーサービス振興会への名宛補助金は廃止とするが、全国的な見地からの各都道府県への支援等は引き続き必要と考えられることから、公募型の委託事業として実施する予定である。</p> <p>○情報公表制度の公表システムは、国で管理をすることとし、社会保障審議会介護保険部会の意見を踏まえ、利用者にとって活用しやすいものとなるよう工夫をする。</p>		
	<p>予算監視・効率化チームの所見</p> <p style="text-align: center;">—</p>		
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p> <p style="text-align: center;">—</p>			
<p>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>介護サービス情報の公表制度支援事業は、「第23回厚生労働省省内事業仕分け(平成22年12月6日)」において、国からの財政支出について指摘を受け、平成23年度で名宛補助金廃止することとし、平成24年度以降については公募による事業実施をする予定である。</p>			

厚生労働省

【補助】

A. 社団法人シルバーサービス振興会
(介護サービス情報公表支援センター)
204百万円
(平成22年度実績)

都道府県における介護サービス情報の公表制度の円滑な
施行と安定的運営の支援のための事業を行う。

【随意契約】

B. 三菱総合研究所
30百万円
(平成22年度実績)

制度の利活用促進等に向け
た検討会の中でアンケート
調査等の業務を委託。

※平成15年度にシンクタンク
の指名競争入札を実施し、そ
の後継続的である為、随
意契約としているもの

【随意契約】

C. 静岡県立大学
5百万円
(平成22年度実績)

分析システムの開発・改修
等の業務を委託。

※平成19年度に一般競争入
札を実施し、その後継続的
である為、随意契約として
いるもの

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.社団法人 シルバーサービス振興会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	都道府県からの公表項目等に関する 疑義照会対応や全国公表データの集 計分析、利活用促進に向けた調査研 究等を行う職員経費	39			
調査委託費	三菱総合研究所への調査等委託費	30			
システム経費	システム改修等契約経費	18			
賃借料等	介護サービス情報公表支援センター 賃借料等	6			
印刷製本費	報告書等印刷経費	2			
通信運搬費	報告書発送等経費	2			
消耗品費	事務用品・コピー費等経費(システム 備品購入も含む)	1			
雑役務費	介護サービス情報公表支援センター 専用ホームページ改修等経費	105			
計		203	計		0
B.三菱総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査委託費	利用者調査・ヒアリング実施時におけ る調査票の素案作成等の支援を行う シンクタンクの人件費及び印刷費、旅 費等の諸事務費	30			
計		30	計		0
C.静岡県立大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
中央データ 分析システム 開発・改 修等経費	情報公表データ統計分析用プログラ ム作成等経費	5			
計		5	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シルバーサービス振興会	利用者の介護サービス事業所選択に資する情報を安定的かつ継続的に提供する制度の運営を支援	204	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱総合研究所	制度の利活用促進等に向けた検討の中でアンケート調査等の業務	30	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県立大学	分析システムの開発・改修等の業務を委託	5	随意契約	—